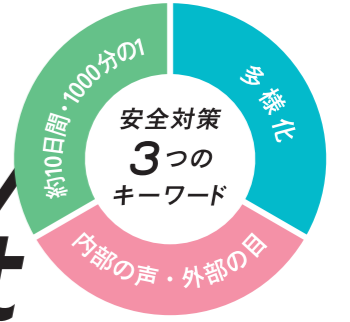


# 柏崎刈羽原子力発電所の今

## Vol.3 内部の声・外部の目

# Emily Timely Report

エミリー タイムリーレポート



私、中田エミリーが柏崎刈羽原子力発電所の安全対策や現場の状況について稲垣武之所長にお話を伺い、現場をその目で確かめてきました。第3回のテーマは、「人」に関する対策の強化についてです。

風通しのよい職場環境づくりが、安全の土台になっているんですね



中田エミリー  
フリーアナウンサー（新潟県出身）

稲垣 当発電所では、22年4月から「あいさつ運動」を始めました。今では協力企業の皆さんも加わる大きな運動になり、コミュニケーションが活発になってきました。

稲垣 「内部の声・外部の目」です。エミリー「声」と「目」、それぞれ何を意味するのでしょうか？

稲垣 これまで設備など、ハード面の安全対策について説明してきましたが、発電所で働く「人」についても重要だと考えています。まず、「内部の声」ですが、これは、発電所内におけるコミュニケーションの強化のことです。

稲垣 その通りです。協力企業の皆さんも含め、当発電所で働く人の約8割が新潟県にお住まいです。雇用創出や地域活性化にも貢献しながら発電所を運営しています。また、22年5月には、本社原子力部門の一部を柏崎市に移転しました。約60名配置し、本社に所属する社員が足しげく発電所の現場を訪れることでコミュニケーションが活発になっています。



IAEA（国際原子力機関）のレビュー

エミリー 地域に根ざしながら発電所を運営しているということですね。

稲垣 はい。次に、「外部の目」についてです。発電所内の連携を強化する一方で、私たちの独りよがりにならないように、地域の皆さまからいただくご意見はもとより、社外のさまざまな組織・団体・専門家の方々から評価や助言をいただいています。

エミリー 外部の目による気づきを取り入れているんですね。稲垣 はい。よりよい発電所となるよう社外の皆さまのご意見を踏まえた改善に取り組んでいます。

稲垣 「内部の声・外部の目」です。エミリー「声」と「目」、それぞれ何を意味するのでしょうか？



あいさつ運動



現場での検討会



稲垣武之  
東京電力ホールディングス  
常務執行役 柏崎刈羽原子力発電所長



朝礼

柏崎刈羽原子力発電所では引き続き安全性向上に努めてまいります。



東京電力ホールディングス株式会社 新潟県新潟市中央区新光町11番地7 025-283-7461 9:00-17:00（土日・祝日・年末年始除く）

これまで行ってきた取り組みについてはYouTubeでもご説明しております。

